人間関係講座（グループ）第108回［春］

-グループの中での人間関係の理解のために- 基礎コース

担当者	森泉　哲（南山大学名誉教授） 土屋耕治（南山大学人文学部心理人間学科講師）
概要	この講座は、「体験学習」という方法を用いて、グループの中での人間関係について学んでいくものです。ラボラトリー方式の体験学習の入門講座として設定しています。１つの講座は２日間のプログラムで構成しています。 　私たちは、会社や組織、家族や仲間関係など、常にグループの中に身を置いています。「グループの中の人間関係は複雑で難しい」ということをよく聞きます。その理由の１つとして、グループで何らかの仕事や課題に取り組む場合に、話や課題の内容（コンテント）に夢中になり、他者の気持ちやお互いの関係（プロセス）に目が向けられず、いつの間にかお互いの思いにズレが生じることが考えられます。 この講座は、以下の学習目標に向けて実施します。 ①グループの中で他者と関わる自分の特徴に気づく ②「コンテント」と「プロセス」とは何かを理解する ③グループの中での人間関係（グループプロセス）に目を向ける重要性に気づく 　この講座では、ラボラトリー方式の体験学習を用いた実習（典型的な実習）と、グループに関する理論の小講義によって学習を深めていきます。グループの人間関係について理解を深めたい方、ラボラトリー方式の体験学習について知りたい方など、さまざまな方にお勧めです。 【プログラムの内容（予定）】 ・小講義「体験学習のサイクル」「コンテントとプロセス」 「グループプロセスとは？」「グループでの意思決定」など ・ グループでの問題解決実習とふりかえり ・グループでの創造的実習とふりかえり ・グループでのコンセンサス実習とふりかえり
日程	2018年5月26日（土）　10：00～18：00 　　5月27日（日）　9：00～17：00　土日集中
定員	36名
会場	南山大学　Ｄ棟　D51教室
受講料	11,200円（税込）
メルマガ 講座報告	担当講師　森泉　哲　記 　2018年5月26日（土）・27日（日）の2日間、第108回人間関係講座（グループ）が開催され、22名の方にご参加いただきました。ふりかえりやわかちあいの時間がもっとあればと思うくらい、受講生の皆様がお互いに気づいたグループプロセスについて語り合い、熱心さと真剣さが伝わってくる2日間でした。 　グループの実習が中心となり、講師と受講者の皆さんとのやりとりがどうしても相対的に少なくなってしまいますが、グループでのわかちあいを拝見させていただいていると、「ああ、そういうふうに見えていたのですね」「その点は気づいていませんでした」等のお互いの気づきに関するコメントが聞かれ、学びが深まっている様子を感じました。「2日間の仲間とこれからもつながっていたい」など、新たなコミュニティが生まれる様子も見ることができ、こちらも大きな学びとなりました。 　教育・医療・企業等の現場でグループと様々なかかわりを持っていらっしゃる方に今回もご参加いただき、日頃の関わりとの関連からグループについて改めて感じたことや気づきに関するコメントも多く聞かれました。2日間の実習と日常生活の文脈は異なりますが、体験学習のサイクルの実践を通して、なにかヒントを得ていただけるならば幸いです。 　また皆さんの日ごろのグループでの実践や取組みについて共有できる機会があることを楽しみにしております。2日間、どうもありがとうございました。 担当：土屋　耕治、森泉　哲